

「ぴっかぴかに光るどろだんごを作ろう！」

図工・美術 理科 技術 総合



講師 ジャパンホームシールド（株）社員

どろだんごを作りながら、自然素材の土への魅力、不思議さを体験し、ものづくりの楽しさや面白さを感じとり、それらを大切にすることができる授業。

- ・粘土のかたまりを削り、まん丸に形を整える。
- ・できた丸いどろだんごに色をつける。
- ・ピンを使いピカピカに磨き、光っていく不思議さを体感する。



【児童の感想】

- ・「ねん土」という土をどろだんごにして、光らせる体験ができて本当によかった。どろだんごを削っていると、どんどんきれいになっている感じがしました。どろだんごを光らせていると「もっときれいに光らせたい」と思いました。家に帰ってからも手でころがしています。毎日やっていると黒だんごちゃんを育てているような思いになります。ちょうど今、理科で地層のことを勉強しているので、土のことをもっと詳しく知れるのではと思います。
- ・けずっている時は、ずっと「まだかな?」「早くならないかな」と考えていました。ずーとけずっていると「けずりかすがチョコレートだったらいいのに」とか関係ないことを考えてしまいました。私は最初、力を入れすぎて、反対の方にキズがついてしまいけずるのが大変でした。みがくときは腕が痛くなりました。でも、頑張ってみがいているとピカピカになって、売り物みたいになりました。教えてくれてありがとうございました。
- ・どろ団子を削る時に最初はうまく削れなかったけど、だんだんコツがわかってきて先生にほめられうれしかった。

【先生の感想】

- ・初めに地層についてのお話もしていただき、6年生の理科の地層の学習にも通じる内容で良かったです。講師の説明もとても分かりやすく、粘土が光っていく過程を体感することができました。ぜひ、来年も続けて実施したい。
- ・講師の皆さんが丁寧で子供たちによく声をかけて頂いたので子供たちもうれしそうでした。どろ団子を手の平で削ったり磨いたりする工程が心地よいようでした。「ずっとやっていたい!」という声が活動中からも聞こえました。
- ・土曜授業なので親子で取り組んでもよい内容だと思いました。自然素材に触れることで心が落ち着くようでした。